

市民活動団体 応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。

掲載申込みの詳細は、市ホームページをご覧ください。

☎広報広聴課 ☎983・2620

三島市 市民活動団体応援

7月1日号への掲載の申込みは、5月24日(金)までに、
広報広聴課
✉kouhou@city.mishima.shizuoka.jp、FAX 983・2719

| 広報みしま | 締切日 |
|--------|----------|
| 8月1日号 | 6月28日(金) |
| 9月1日号 | 7月24日(水) |
| 10月1日号 | 8月23日(金) |

文化

三島地区書道連盟 第29回三島地区展

☎5月8日(水)～12日(日)午前9時30分～午後5時(8日午後1時～5時、12日午後4時まで) ☎生涯学習センター3階市民ギャラリー ☎会員の書展、漢字・仮名・小字数・詩文書・前衛などの作品
☎無料 ☎静岡県三島地区書道連盟展事務局・西川 ☎931・9776

木漏れ日の中で 40th anniversary

☎5月11日(日)開場午後1時30分、開演午後2時 ☎市民文化会館小ホール ☎坂公民館コーラス教室、清水コーラス、コール・ロペリア、指導者を同じくする記念演奏会。三団体の個性を生かした曲を披露 ▶日本の唱歌、親しまれている歌 ▶さだまさしの魅力 ▶世界の名曲・委嘱曲 ☎無料 ☎青木 ☎090・5614・1118

楽しく二胡を弾こう！

中国の伝統楽器「二胡」とても澄んだ優しい音色の楽器です。自分の手で触って音を出してみましょ。 ☎5月12日(日)午後1時30分～3時 ☎生涯学習センター5階音楽室 ☎20人 ☎☎前日までに、高橋 ☎090・3309・6659

「すぎな短歌の会」作品展 藤岡武雄先生と共に

☎5月10日(金)～19日(日)午前10時～午後5時 ☎市民活動センター(本町タワー4階) ☎藤岡先生の作品を中心に会員13人の短歌、短冊を展示 ☎二の宮 ☎972・5438

そよ風の会第5回水彩画作品展

☎5月16日(日)～19日(日)午前10時～午後5時(19日は午後4時まで) ☎生涯学習センター3階市民ギャラリー ☎水彩画約40点の展示 ☎無料 ☎宇田川 ☎080・5162・1428

第9回廣雪書院展

☎5月16日(日)～21日(金)午前10時～午後5時30分(21日は午後4時30分まで) ☎Via701(本町) ☎書道作品展 ☎無料 ☎廣雪会 ☎090・4117・4169

伊豆中央高校吹奏楽部 第35回定期演奏会

☎5月26日(日)開場午後1時20分、開演午後2時 ☎市民文化会館大ホール ☎指揮：藤田光介 ▶曲目：アルセールほか ☎前売り券300円 ▶当日券500円 ☎伊豆中央高校 ☎949・4771

「みしま桜塾」塾生募集

みなさんと一緒に気軽に学ぶ講座

☎随時(月1～2回、2時間) ☎みしまのお寺めぐりの会(大社町7・31) ☎①お寺と三島の歴史を学ぶ②桜ウオーキング③手作り小物④スケッチからの水彩画と油絵⑤元気体操⑥絵手紙⑦生け花 ※資料は当会事務局、図書館、観光協会、Via701 ☎200円(材料代別) ☎各10人 ☎☎みしま桜塾(お寺めぐりの会内)・藍木、山本、峯岸 ☎090・8132・8394

スポーツ・健康

太極拳生徒募集 まずは体験1カ月無料

☎毎週水曜日午後2時～4時 ☎横浜ゴム体育館(南二日町) ※駐車場有 ☎太極拳の動作は柔和です。やさしいものから始めます。新しい年号の年、新しいことを始めてみませんか。どなたでも大歓迎です ☎梅田 ☎080・3151・9178

その他

ラ・サンテまつり

☎5月12日(日)午前11時～午後3時 ☎介護老人保健施設ラ・サンテふよう ☎ミニレクチャー、Mr. ひばり歌謡ショー、バルーンショー(腫)、タヒチアンダンス(ori aita peapea)、お楽しみ抽選会、バザー、フードコーナー、子どもコーナー、模擬店、施設見学、健康相談コーナーなど ☎ラ・サンテふよう ☎989・7000

三島マジッククラブ発表会

☎6月9日(日)午後1時30分～3時30分 ☎市民文化会館小ホール ☎出現・消失・変化の不思議を楽しむ夢と希望の世界 ☎無料 ☎355人 ☎三島マジッククラブ・高田 ☎987・6334

無添加で安心・安全！ 自分で作る味噌教室

☎6月14日(金)午前10時～正午 ☎錦田公民館調理室 ☎2kgの味噌を作ります ☎1,000円(材料・容器代込み) ☎未経験者の個人またはグループで先着5組 ☎☎5月31日(金)までに三島市消費者連絡協議会事務局 ☎983・2621

歴々の小箱

No.372

三四郎人形に見る

季節 春〜夏

郷土資料館 ☎ 971・8228 館蔵資料の新規展示「バック・トゥ・ザ・ミシママチ！」は、4月27日(土)～9月1日(日)の日程で開催します。

郷土資料館では、「バック・トゥ・ザ・ミシママチ！」と題して、館蔵資料を通じて江戸時代から近代にかけての三島の歴史や文化を紹介する展示を行っています。展示品の中から、今回は季節にちなんだ、かわいい人形芸術の紹介です。

「三四郎人形」とは、昭和初期に活躍し、将来を嘱望されながらも夭折した三島出身の人形作家・野口三四郎が残した人形のことです。三四郎が人形制作を行っていた昭和初期は、人形を芸術の域に高めようという人形芸術運動が勃興した時期でした。当時もっとも注目を集める美術展の一つであった帝国芸術院展（帝展）に人形作家が初めて入賞した昭和十一年、人形芸術院が設立され、その第一回展覧会では三四郎の作品が最高賞を受賞しました。しかしこの受賞の翌年、三四郎は結核で亡く

なります。人形作家としての活躍期間は短く、残された作品は多くありませんが、彼の作品はゆかりの人々に大切に受け継がれ、今なお多くの人々から愛されています。

三四郎の作品には子どもや動物をモチーフにしたものが多く、まるみを帯びたやわらかな作風は、対象への深い愛情やぬくもりを感じさせます。今回は、彼の作品の中から陽春の今にぴったりの数点をご紹介します。

「パラソル」は、雨上がりでしゅうか、空を見上げる少女の晴れやかな顔と追いかけてくる子犬がなんとも愛らしい作品です。



「パラソル」

「春日庭」は、庭でかごの中の小鳥と一緒にブランコ遊びをする少女の様子です。台裏に工夫をこらすことで、ブランコは実際にスイングするようになっ

ており、春のあたたかい光や少女のはずむ心までもが伝わってくるようです。



「春日庭」

「五月の賦」は、こいのぼりがたなびく5月の空を表現した作品です。男の子の成長を願う父の心を反映したものでしょうか、小さく配した家並や富士山と大きく作られたこいのぼりの対比が奥行きを生み、雄大さを感じさせる作品です。一男一女の父であった三四郎は、ひな人形も残しています。



「五月の賦」

わたしの
おじいちゃんおばあちゃん

当番 たかはし ここあさん

「ただいま！」と学校から帰ってくるわたしに「おかえり！」と声をかけてくれるじいじ。うれしいことがあった日も、ちよっぴり落ち込んで帰ってきた日も、変わらぬ「おかえり！」をくれるじいじ。お店を休んでしまふと困る人もいるからと休むことなく働くじいじはすごいなと思います。そんなじいじをみてると、私も自分に責任をもつて、周りの人のことを考えて行動しなくちゃいけないと思います。いつもかっこいいじいじ、これからはずっと元気で私のあこがれでいてね。



高橋 重利 (71才)
高橋 ここあ (東小6年)